

A 住宅複合ゾーン

【課題】

◦ 地区計画により、適切にまちづくりが進められ、一定の成果を収めている。

コミュニティについて

- ・電線の地中化
- ・町会の存続が危うい、後継者がいない
- ・コミュニティの場が少ない
- ・高齢者が気軽に出かけられる場所が少ない

【将来像】

良好な住環境の維持、創出

江戸時代から続く番町の歴史・品格の継承

受け継ぐ地域文化・コミュニティの再形成

閑静な住環境の維持

教育施設等との共存・調和により、
中層・中高層を中心とした、
良好な住環境を形成する。



B 業務商業ゾーン

【課題】

通りについて

- ・歩道が狭い、バリアフリー化
- ・通りが暗い、照明が暗い、見通しが悪い、違法駐輪が多い

開発について

- ・魅力的な飲食店や店舗が必要
- ・マンションの建替えが進んでない
- ・建物の老朽化が進行

【将来像】

住環境と調和・共存する商業・業務機能の強化 ゆとりや賑わいのあるオープンスペースの創出

住宅地と共存調和し、生活利便性の良い賑わいの軸

緑が多く、バリアフリー化された快適で安心して歩ける通り

住民と企業が育てる愛着のある通り

店舗等を中心に、
街の活性化や賑わいを担う。

Aゾーンとの調和を図りつつ、
土地の高度利用が望まれる。



C 麴町駅前拠点

【課題】

広場について

- ・使いにくい公開空地が多い
- ・イベントができる広場が不足
- ・緑が少ない

【将来像】

文化発信機能の再編などにより、
駅前立地を活かした地域の顔づくりを担う

交流を促す広場等を備えた、番町地域の顔となる拠点

麴町駅へのバリアフリー空間

メリハリのある都市空間の形成

商業・サービス施設等の立地による地域利便性の向上

地域コミュニティの核となる
オープンスペースを中心とした
街づくりを推進する。

有効・高度利用により
新たな拠点を形成する。



D 市ヶ谷駅前拠点

【課題】

市ヶ谷駅について

- ・駅前に滞留空間が無い
- ・駅周辺の狭い道に停車し通行の妨げになる
- ・歩行者と左折車両が交差する複雑で危険な交差点が多い
- ・交通結節点としてのバリアフリー化の遅れ
- ・周辺に駐輪施設が少ない

【将来像】

今後検討予定